



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

92.9.24 No.3663

直営売店の廃止 改札業務の要員削減と提案

千葉社
12月「ダイ改」の
労働条件を提案
サービス低下、安全無視を許すな。

九月二十一日、JR千葉支社は、十二月三日「ダイ改」に合わせ総武線の改札業務に対する要員合理化を中心とする要員提案を行ってきた。

千葉支社の十二月「ダイ改」は、成田空港の第二ターミナルビルの開業に伴う新駅(空港第二ビル駅)の開業が主であるが、これらの要員捻出のため、総武線(浅草橋〜津田沼間)の改札業務について、船橋・津田沼駅の自動改札導入による大幅な合理化および改札業務の要員削減を行ってきたのである。

要員関係の主な提案内容は、

①改札業務について、

船橋駅、七徹一日勤(二十二名)を三徹(九名)に

津田沼駅、七徹(二十一名)を三徹(九名)に

浅草橋〜本八幡間は、全駅日勤体制を廃止し、各駅とも二名の削減、成田空港駅、三十名体制から十七名体制とする、

空港第二ビル駅の要員体制は、二十四名体制となっている。

削減数は五十四名であり、新駅開業に伴って二十八名増となっており、全体で

は二十六名の削減計画となっている。営業関係では、今後、緩行線のホーム要員の廃止計画があり、再び大幅な要員合理化が行われようとしている。

②十一月一日、売店の廃止を提案

直営店舗(なのはな亀戸店、西船橋一商店、千葉五号店、千葉催事コーナー店、浜野店)の五店舗を十一月一日に廃止する。

これに伴う要員削減は、十五名となっている。

③車掌の改札行路を一部廃止、

十二月「ダイ改」に合わせて、車掌の改札業務を廃止する。そのため要員削減を行うという内容を提案してきた。

主な内容は、

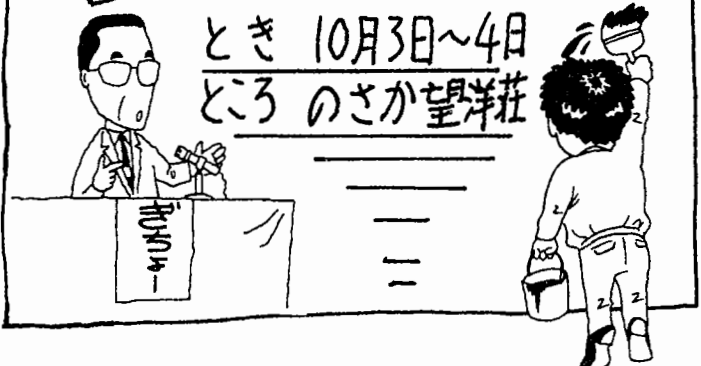
特急列車について、七十キロ圏以遠は一人乗務とする(例えば八街駅からは客扱いなし)。

津田沼・千葉車掌区の審査業務で各二名減、

千葉車掌区の臨要員で六名減、千葉車掌区(三名)同鴨川支区(一名)の特急行路による要員減となっている。

第19回定期大会 参加を!

とき 10月3日~4日
ところ のさか望洋荘



これらの提案に対し、旅客サービスや安全上から問題があり、業増のために、無謀な要員合理化は認められないとし、再考を求めたこととした。

また、今次「ダイ改」に合わせて、三月「ダイ改」において強行された動力車乗務員の勤務によって、食事時間・睡眠時間・折り返し時間等がない「行路」の改善をはかる考え方があるかとの追及に対し、

会社は、今後検討し、十月上旬に考え方を提示する。

売店の廃止に伴う要員配分の考え方を正したのに対し、

会社は、この経緯は認識しているが、全体の需給および適性、能力等を判断して要員運用を行う。

等々の考え方がだされたが、今後、強配転者の原職復帰、動力車乗務員の労働条件の改善等を中心に十二月「ダイ改」を闘い抜かなければならない。